

課題番号：2017-5
研究課題名：新規腎炎マーカーの多数検体での実証研究
実施代表施設：コラーゲン技術研修会 実施責任者：横山 秀成
実施期間：倫理委員会承認後 ～ 2018 年 3 月 31 日
対象となる試料・診療情報 「臨床検査の測定及び診断技術の向上プロジェクト 検体（診療上の採取血液等）の研究利用についての同意書」により同意の得られた試料提供者の試料・診療情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>■尿試料</li> <li>■臨床情報（傷病 CD、既往歴 CD、投薬歴、その他、性別、年齢、検査結果）</li> </ul>
研究の目的、意義 提供される多数の腎炎患者尿を測定し、新規腎炎マーカーの有用性を示す。 従来慢性腎臓病（CKD）の指標として糸球体ろ過量（GFR）があり、日常では簡便な推算糸球体ろ過量（eGFR）が用いられている。しかし、腎炎患者のなかには、eGFR が非腎炎患者とかわらない患者も存在する。eGFR のみでは腎炎患者と非腎炎患者を識別できない。 一方新規腎炎マーカーは eGFR では識別できなかった先の腎炎患者から 70%以上を識別した。 この新規腎炎マーカーを検出する事で腎炎患者をより早期に発見できるようになる。
実施方法 eGFR60 以上の腎炎患者尿を測定してバイオマーカーの有用性を ELISA 法を用いて示す。